

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターひだまり

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 6年 2月 21日 13:30 ~ 15:00 (ミーティングルーム)

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 2名 地域委員 2名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

自己肯定感・貢献感・感謝の気持ちを育む
いきいきと活動できる子・おもいやりのある子・ありがとうの気持ちを表せる子

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

人と関わる心を育む
～ 様々な友だちとの関わりの中で、自分の思いを伝え相手の思いを聞いてみよう～
(テーマ) 自分が好き、友だちが好き、みんな大好き

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・重点目標の取り組みについては昨年度からの目標から引き継ぎ、設定し、4月の年度当初に保護者に説明を行い、書面にも表したことにより職員、保護者共に理解をしていた。 ・取り組みについては、異年齢児や幼児部・保育部の他クラス間で関わりが持てるよう、毎週のリズム活動のグループ分けを工夫し、運動会を異年齢グループで開催するなど意識的に様々な友だちと関わる事ができる仕組みづくりを行った。	4	・友達の幅が広がり、小さい子を思いやり、面倒を見てあげたい気持ちが芽生えてきた姿が見られ、1年での成長を感じた。 ・運動会やリズムなど、混合クラスや異年齢で行うことで、家庭で他クラスや年長児の姿を真似る様子や、楽しそうに関わり合って生活をしていることが伝わった。様々な関わりを持つことで子どもながらも刺激をもらっていると感じた。 ・園として主体性を大切にしていることが色々な場で見られた。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	・子ども達が主体的に安心して過ごす事のできるための物的環境について職員間で話し合い、実践をした。 ・指導計画については、学年ごとに話し合い作成することが出来たが、翌日の活動などの準備や流れについて具体的に把握をするまでには至らず、活動の準備時間の設定が不十分であった。 ・未満児クラスについて成長発達を見ながら保育計画を立てているが、散歩へ出かけることが少なかったことなどを含め、心を動かす活動への取り組みが少なかったと感じた。	4	年間計画を年度初めに配布したり、指導案等を毎週保護者に送信したりなど、計画をしっかりと立て、保護者への啓発に努めている様子が見受けられた。 ・お店屋さんごっこの参観の際には、子ども達への活動展開の中で計画性をもって進められていた。またそれらの活動を実践するための職員の頑張りを感ずることができた。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	3	・一人一人の個性を認め、丁寧に関わりを深める事で、その子らしさを出して生活を送ることが出来ていた。 ・身近な生き物を飼育し生態について関心を持ちたり、季節の野菜や植物を育てたりし、興味が深まるように心掛けた。 ・言葉に表すことができない年齢の子どもたちに対して、思いや考えを受容することの大切さを再認識する学びの場を持ったが、集団保育の中で受け止めきれない場面が多く、実践に繋げることが難しかった。	4	・参観会の中で、子供たちから楽しく活動に参加をしている様子がかがえた。 ・保護者のアンケートからも子ども達が園生活を楽しく通っているという声が多かった。 ・職員の子ども一人一人に対する配慮を感じ、子どもの安心感につながっていた。集団や活動に入れない子に対しても、寄り添って対応をしている姿があり良かった。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ、保護者の行事参加が緩和され、日頃の園での様子を高めお子さんの様子や成長を確認して頂く機会が増えた。 ・気持ちの良い挨拶を交わし、安心してお子さんを預けることができ、また子育て相談等を行うことができる関係を保育者から築き、関わる事ができないことがあった。 ・園の様子を定期的にお知らせするためのブログ配信の計画を立てていたが、大きな行事の様子以外でクラス活動の様子を発信する事が少なかった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを実施し、保護者の方から出されたご意見に対し真摯に向き合う姿勢があり良かった。 ・病院を受診する際の保護者との連絡方法や迅速な対応等を確認でき、安心して子どもを預けることのできる環境であると感じた。
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ、職業体験ボランティア、いもほり、お茶摘み、草刈り等、地域の方や中高生に協力してもらった事で、園児の教育保育活動に役立てることができた。 ・一時預かり事業や子育て支援センター事業など、地域の方が利用をしやすい相談ができる場所としての役割を果たすことができた。また支援センターでは妊婦支援を意識的に行い子育てに期待を持って出産を迎えたり、産後の身体ケアについてなど妊娠から出産、育児まで繋がりがある支援を行うことができた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生や地域の方との関わる機会を計画的に実施されていた。 ・地域の方との貴重な体験をさせて頂いていると感じた。また地域の方に教えて頂いた内容を家庭に帰った際に伝える姿や、地域交流の中で収穫した野菜やお茶の葉を家庭に持ち帰り、おいしく食事ができ、地域・園・家庭との繋がりを感ずることができた。
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の得意、不得意を活かしながら、教育・保育に繋げ、自身のやりがいや役割へと感じる機会となった。 ・研修会に参加する事で、各自の学びを深める場となったが、今後はそれらの学びを実践に活かされるよう、機会の場を設けていく。 ・玩具の特性や発達にあった玩具など、教材を知り、安全に活き活きと子どもたちが遊ぶことができるための話し合いや学びの場が不十分であった。 ・日々の忙しさから、整理整頓や環境設定が不十分であり、気持ちよく働く場が整っていなかった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・参観会の中で、壁面装飾やピアノの演奏等拝見し、職員の個性が活かされながら仕事をしている様子が感じられた。 ・職員の子どもに対する伝え方・声掛けがとて良かった。どうしたら子どもの心に響くのか、日ごろの研修から得た学びが保育の中で意識されている事が伝わった。 ・常に子どもを預かっている中で、計画を立て、活動の準備や研修等を行う職員の頑張りをとて感じた。少しでも長く働くことのできる職場環境であってほしい。